

株式会社バローホールディングス

ホームセンターバローメガストア稲沢平和店 / 愛知県稲沢市

株式会社バローホールディングスは、スーパーマーケットを中核に、ホームセンター、ドラッグストア、スポーツクラブ等、地域の多様なニーズに応える事業を展開されている企業です。さらに、創業時から受け継がれている「人々の暮らしに豊かさをもたらしたい」という考えから、複数の業態を組み合わせた商業施設の開発に取り組まれております。

本事業は、その業態の中からホームセンターを避難所とし、災害時の停電下においても発電と空調が可能なGHPを導入されたものです。令和4年度においても、数店舗の申請をいただいております。地域貢献への積極的な企業姿勢を具現化されております。



外観

補助事業の概要

導入設備：停電対応型GHP 56kW×8台

補助金額：25,696千円(補助率1/3)

災害時の設備用途：[発電] 売り場(空調)、フードコート・レジ(コンセント)、売り場・トイレ(照明)
[空調] 売り場

対象施設	避難所面積	供給方式
一時避難所	5,131㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

株式会社バローホールディングス 店舗運用部 既存店対策課

当社は以前より、補助金を活用しながら施設の省エネに取り組んでおりました。空調機に関しては設置より15年経過を目途に順次更新を計画しており、コンサルタントから本補助金を活用した改修の提案を受けました。

本補助金を活用してBOS仕様の設備を導入することで、停電時にも空調・照明・コンセント等の使用ができることは防災の観点からも大きいメリットと考え、早々に行政との協定の話を始めました。行政からも、「新たに避難所の提供を頂いたことは、非常にありがたい。地域のレジリエンス向上に向け、引き続きご協力頂きたい。」とお言葉をいただいております。

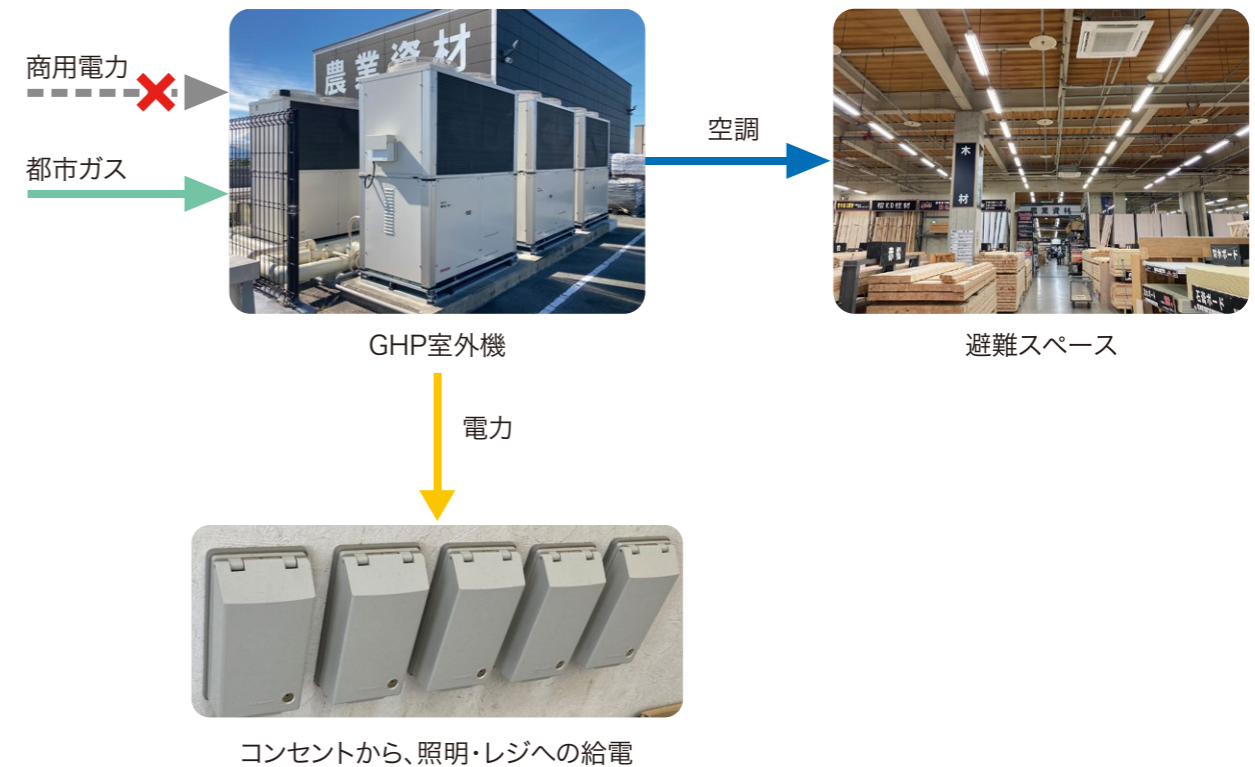
今回の設備導入で単に避難所としてではなく、災害時でも商品の提供が可能となります。ホームセンターですので、災害時にあると便利な商品を取り揃えております。避難された方以外の方にも、喜んでいただけるものと思っております。

地域にとっても避難所を増やすことができますし、当社にとっても省エネ・レジリエンス向上・コストの削減と大変魅力的な補助金だと考えております。今後、他店舗においても空調の更新時期に合わせて同様の設備導入をしていく計画です。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

平時 通常のGHP空調機として、売場への空調

停電時 停電時も稼働が可能なGHPが、売場の空調と売場に設置されたコンセントや照明に電力を供給



停電下では、GHPからコンセント及びトイレの照明に電力が供給されます。コンセントに投光器を接続することで、売場内の照度を確保します。

また、レジシステムへ電力が供給されることで、店舗にて取扱う商品の販売を継続できます。物品提供に関する管理を通常の営業時と同様に行うことができます。

協定概要

稲沢市とは「災害時における支援協力に関する協定書」を締結(令和3年12月)し、地震、風水害、その他の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、施設等を利用することについて定めております。協定では、駐車場を一時避難場所、施設を一時避難所とし、電源・水道水・トイレ等を可能な範囲内で提供することとしております。